

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(女) 3 回戦

試合日: 2014/08/04
開始時刻: 11:40~
会場: 八千代市民体育館
コート: Nコート
試合順: 第2試合(女) 3 回戦

Team A		Team B
埼玉栄	62	昭和专业
(埼玉県)		(千葉県)

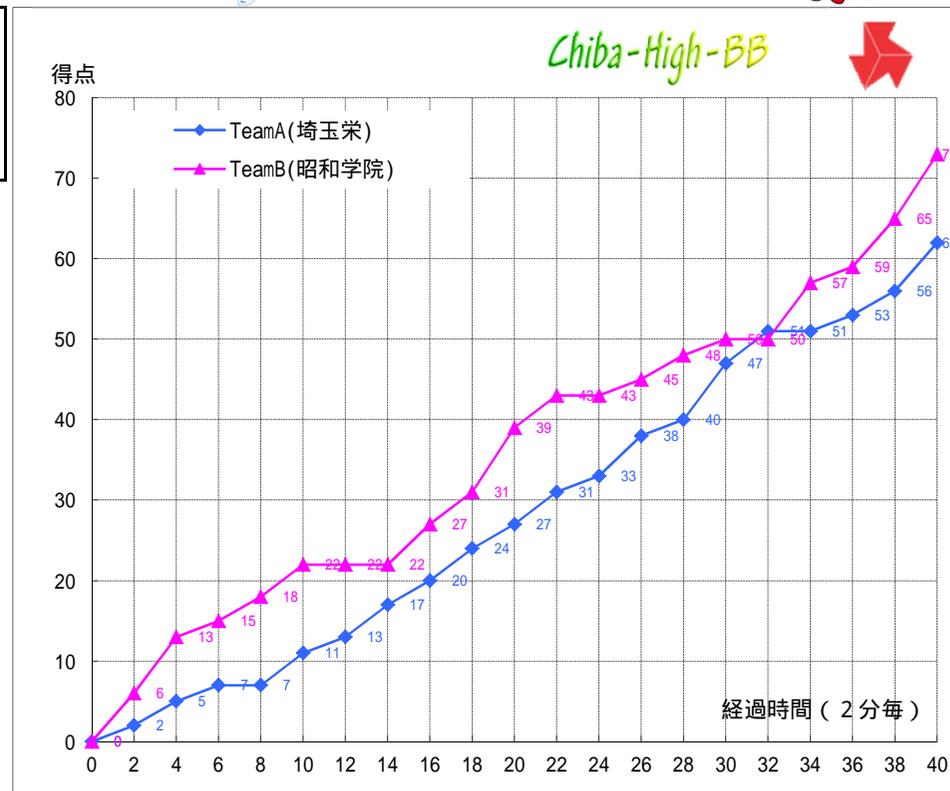
TeamA(埼玉栄)

PT	選手名	得点	3分 イント		フリース-	反則	リバウンド			アシ	ブロック	ターン
			成	成			成	off	def			
4	今村 ひかり	14	2	3	2	3	0	4	4	2	0	2
5	ナウタヴァイ 絵美理	34	6	6	4	1	1	3	4	0	0	5
6	藤野 希生	5	0	2	1	5	0	1	1	1	0	0
7	新井 李音乃	4	0	2	0	4	3	4	7	5	0	7
8	柿沼 あゆみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	植村 莉子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	古川 夢子	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11	渡邊 あゆみ	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	1
12	梶原 理奈	2	0	1	0	0	0	4	4	6	0	4
13	野口 ブルーナ	1	0	0	1	3	2	2	4	0	0	2
14	弘重 綾野	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15	吉田 有花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						17	0	1	1			1
合計		62	8	15	8	35	7	20	27	14	0	21

TeamB(昭和专业)

PT	選手名	得点	3分 イント		フリース-	反則	リバウンド			アシ	ブロック	ターン
			成	成			成	off	def			
4	萩野 あかり	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-
5	水野 妃奈乃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	渡部 友里奈	8	0	3	2	2	3	7	10	3	0	6
7	山本 由真	8	1	1	3	2	1	8	9	3	0	3
8	赤穂 ひまわり	15	0	5	5	1	4	1	5	4	8	1
9	小野尾 梨紗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	稲垣 世羅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	安藤 礼乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	赤穂 さくら	30	0	14	2	2	8	3	11	3	2	7
13	山本 加奈子	8	2	1	0	2	2	3	5	3	1	8
14	城内 はるか	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15	中村 美羽	4	0	2	0	1	1	6	7	0	2	1
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						11	3	2	5			0
合計		73	3	26	12	22	22	30	52	16	13	26

TO / CK / SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高等学校バスケットボール部



タイムアウト

	前半(1-2分)リフト	後半(3-4分)リフト	延1	延2	延3	延4
TeamA	7:57	15:18	33:57	36:10	38:38	
TeamB	14:00	- : -	25:39	32:37	- : -	

【戦評】

両チームともハーフコートマンツーマンで開始。硬さが見られる埼玉栄に対し、昭和专业は#13の3p、#12のリバウンドシュートで得点していく。埼玉栄は#7を投入したことをきっかけに足が動き始め、全員でインサイドを守る。ディフェンスが機能し始めたことにより、オフェンスでも#4、#12のドライブがさえ始めたところで第1P終了。
第2P、埼玉栄は堅い守りで得点を許さず、#5がオールラウンダーの活躍を見せ、一時は5点差まで詰め寄る。昭和专业はアウトサイドシュートが決まらず、ガード陣のミスも重なり、残り6分でタイムアウト。#12にボールを集めるが、すかさず埼玉栄はダブルチームを仕掛ける。しかし、#8のドライブやリバウンドシュートをきっかけに#12も奮起し、リードを広げたところで第2P終了。第3Pは一進一退の攻防が続くが、埼玉栄#4、#5を中心にじりじりと詰め寄る。再び5点差に縮まったところで、昭和专业のタイムアウト。今度は#8にボールを集めて得点していくが、埼玉栄#7の攻守による活躍により、3点差まで詰め寄ったところで第3P終了。第4P、埼玉栄#13のフリースローが決まり、2点差に。さらに、#5の3pも決まり、ついに逆転する。昭和专业はタイムアウト後、#12にボールを集め、再逆転に成功する。さらに、要所で#8がリバウンドシュートをねじ込み、徐々に差を広げていく。埼玉栄はオールコートプレスを仕掛けるが及ばず、73-62で昭和专业が勝利を収めた。敗れはしたものの、ベンチの声援を力に変え、粘り強さを見せた埼玉栄は感動を覚える奮闘ぶりであった。

審判	芳賀 聡 / 隈元 ゆみこ /	戦評	久能 由紀子
----	-----------------	----	--------